

みちのり

シリーズ⑬

太田有紀さん
1941年、中国遼寧省鞍山市生まれ



太田有紀さん 自宅で

近所の人の勧めで寮に入ったのは20歳の時だった。

訂正され、元の会社の検査の仕事に戻された。肉親探しと鞍山山

山会の人たちが母を見つけてくれ、私は案内してもらいながら母の住んでいる名古屋に

住んでいた鞍山山の坂口さんだった。埼玉県所沢の帰国者定着セン

いつもお腹をすかせ、鶏の世話をしていた中国人の養父母に育てられ、近所の人からは「小日本児」と言われていた。養父母には私を入れると9人の子供がいて私は上から3番目だった。養父は鉄工場で働き、収入は悪くなかったが、家族が多いので貧しかった。養父の稼ぎでは足りないので家で鶏を500羽ほど飼っていたが、その世話が私の仕事で餌は野原に草を採りに行った。

養母は私にだけ辛く当たり、時には血が滲むまで殴られた。学校は小学校6年生まで行かせてくれたが、いつもお腹を空かせていた孤児になった事情

自分の父に反対され、日本の女性のもとに戻る事ができなかった。1943年、満州の鞍山製鉄所の町で暮らしていた私の両親は事情があつて、当時2歳だった私を親しかった養父に一時のつもりで預けて日本に戻った。その後、父は日本で徴兵されて後に亡くなり、母は日本に帰国したまま中国に戻れなかった。そして私は預けられた養父母の家で成長した。

仕事、夫との出会い、小学校を卒業し、私は家事や兄弟の世話をした。働くかと思つた。私のことをかわいそうだと思つてくれた

夫との出会いは私の事情をよく知っていた近所の派出所の所長だった人が夫と同じ工場に勤務し、紹介してくれた。夫は同じ鞍山に住んでいて、水道や暖房の配管図面を書くことや工事の仕事もしていた。結婚して子供は3人生まれた。

66年から文化大革命が始まった。子供のころから自分が日本人であることは知っていたが、この頃になると工場の壁新聞に私が日本のスパイだと書かれ、貼り出された。糾弾され、技術職から工場の現場に転属させられ、現場に転属させられ、空気が悪いせいで咳がひどくなった。隣人の助けで別の工場の食堂の倉庫管理の仕事に替えてもらった。76年文革の終わった次の年、私が「スパイ」とされたのは間違いだつたと

この時、鞍山会の人たちがたいへん親切にしてくれたので、日本に帰りたいと思つたが、すぐには手続きできず、帰国したのは84年だった。日本に来るのをためらっていた夫と当時琵琶奏者として活躍していた次女を残し、長男と長女を連れて帰国した。身元引受人になつてくれたのは尼崎市に

私の人生の中で一番苦しかったのは文化大革命の時だった。その体験から「日本にどうしても帰りたい」と思うようになった。(聞き手 吉村清美) (通訳 韓静)



夫、魯習増さんと自宅で

交流の広場

新年交流会

令和になって初めて迎える新年交流会が1月18日(土)に尼崎市中央北生涯学習プラザで開催されました。他の団体や教室との交流が増え、今回も多数の参加申し込みがあり、制限しなければならぬほどでした。そのため担当は早くから、学習者とワンチームとなり計画、準備をしてきました。

当日は朝9時スタートで料理、会場、舞台作りをみんなでしました。12時半に料理が並び予定どおりに始まりました。

会場ホールの片隅では、バザーを開いて、学習者さんの活動費にしました。

昨年のはじめの会場で、はじめての会場や

去年の公民館移転

昨年のはじめの会場や

昨年のはじめの会場や



戸川常恵さんのパフォーマンス

料理は(餃子、肉団子酢豚、春雨サラダ)を150人分以上も作りました。いつものように他の教室の人も参加して、ワイワイにぎやかに餃子作りをしました。

かな衣装や扇を揃えての太極扇、広場ダンス、京劇、創作ダンス、コマ回しなどで目を楽しませてくれました。照明設備を使い、演技もレベルアップしてきました。

それから全員で「ふるさと」「大海啊故乡」を歌いました。最後に恒例のヤングゲームも踊り、中国への思いを感じました。

そして、「今年も元気に暮らそう!!」、「日本語教室で学習を頑張ろう!!」と声を掛け合つての閉会となりました。

そして、「今年も元気に暮らそう!!」、「日本語教室で学習を頑張ろう!!」と声を掛け合つての閉会となりました。



楽しい健康の会の皆さんのパフォーマンス

美味しい料理をいただきながら話はずんでいました。今年も、縁起物の南天が見事に活けられた舞台で、各教室や個人が自慢の演技を披露し



ヤングを踊る松林順子さん

新年交流会の準備がはじまりました。

新年交流会の準備がはじまりました。

新年交流会の準備がはじまりました。

新年交流会の準備がはじまりました。

戦争展に参加

戦争展に参加



満洲農業移民募集のポスター

戦時中の在満日本人と関係者

	全体	一般	関係者(比率%)
在満日本人数(人)	1,550,000	1,280,000	270,000 (17.4)
死亡者数(人)	176,000	97,500	78,500 (44.6)
死亡率(%)	11.4	7.6	29.1

上記のように戦時中の在満日本人は155万人、一般日本人は128万人、関係者(関係者を含む)は27万人(17.4%)であった。戦時中の在満日本人の死亡率は11.4%であった。そのうち関係者の死亡率は44.6%と平均値よりも高いことがわかる。戦時中の在満日本人の死亡率は11.4%であった。そのうち関係者の死亡率は44.6%と平均値よりも高いことがわかる。戦時中の在満日本人の死亡率は11.4%であった。そのうち関係者の死亡率は44.6%と平均値よりも高いことがわかる。

新年交流会の準備がはじまりました。

新年交流会の準備がはじまりました。

新年交流会の準備がはじまりました。

新年交流会の準備がはじまりました。



神戸地裁判決

神戸地裁判決

神戸地裁判決